

民生委員・児童委員



我妻トシ子・再
(西山)



本郷長・新
(西山)



矢吹さつき・新
(赤坂西野)



須藤一兄・新
(赤坂西野)



宗田豊・新
(赤坂東野)



鈴木ツヤ子・再
(赤坂中野)



岡部みち子・再
(赤坂中野)



鈴木ヤヨイ・再
(赤坂中野)



松本弘子・再
(富田)



青戸カツ子・再
(富田)



須藤幸子・新
(赤坂東野)



小森洋一・新
(赤坂東野)



長井太一・新
(青生野)



岡部喜一郎・新
(青生野)



藤田俊一・新
(渡瀬)



芳賀正訓・新
(渡瀬)

主任児童委員



鈴木米子・再
(赤坂中野)



清水国明・再
(赤坂東野)

退任者(敬称略)
▼高坂マサエ(二期)、舟木壽郎(二期)、水野茂男(二期)、水野洋子(三期)、佐藤一(四期)、高杉タカ子(三期)、蛭田トキ子(三期)、芳賀愛子(二期)、金澤助右門(二期)、武藤明(一期)

任期満了による民生委員・児童委員、主任児童委員の改選で、新しい委員に厚生労働大臣と福島県知事からの委嘱状が大楽村長から交付されました。任期は平成二十二年十月

二月一日から平成二十五年十月三十日までの三年間です。民生委員は、行政や関係機関との連携を図りながら、担当区域の住民福祉についての指導を行うほか、生活上のあ

らゆる相談に応じます。また、児童委員も兼ね、子育て環境づくりや児童の健全育成にも携わります。主任児童委員は、村全域の児童福祉に関する相談に応じ

ます。なお、十二月三日に開催された民生児童委員協議会で、会長に芳賀正訓さん、副会長に長井太一さんが選任されました。また同日、退任式も行われ、厚生労働大臣感謝状や知事あいさつ状がそれぞれ大楽村長から退任者に伝達されました。

民生委員・児童委員が委嘱されました

中沢めん羊の里づくり組合が農林水産大臣表彰を受賞

豊かなむらづくり顕彰で全国表彰に推薦されていた「中沢めん羊の里づくり組合」(円谷次男組合長)が、東北ブロック表彰式で農林水産大臣表彰を受賞しました。

同組合は、農業を核とした地域づくりや女性による郷土料理の伝承などの取り組みが高く評価されました。この受賞は、福島県では3年ぶり16回目、本村では、初めての快挙となりました。

表彰式は11月16日、宮城県仙台市のKKRホテルで行われ、佐藤憲雄東北農政局長から円谷組合長に賞状と記念品が贈られました。



受賞した中沢めん羊の里づくり組合

平成22年度 豊かなむらづくり全国表彰事業
東北ブロック表彰式



受賞した献立

村学校給食センターが農林水産省生産局長賞と審査委員特別賞ダブル受賞

農林水産省の第3回地産地消給食等メニューコンテストで、村学校給食センターが学校給食・社員食堂部門で農林水産省生産局長賞と審査委員特別賞を同時受賞しました。

コンテストは、学校給食などで地元産の食材を使った献立を募集。全国から180点の応募がありました。

受賞した献立は、ご飯、豚肉のえごまみそ焼き、切干大根のおひたし、さつまい、ミニトマト、牛乳。地元の野菜をふんだんに取り入れた点や食べやすさなどが高く評価されました。

表彰式は1月12日、東京都で行われます。

村学校給食センターが全国入賞

地元の食材を使った給食のおいしさや栄養価を競う「第5回全国学校給食甲子園」の決勝大会が12月12日、東京都の女子栄養大学で開かれ、北海道・東北ブロック代表として二年連続で出場を果たした村学校給食センターは、最優秀賞は逃したものの入賞を果たしました。

大会には、芳賀栄養技師と岡崎主任調理員がチームを組んで出場。献立は、豚肉のから揚げ大豆ソースがけ、ジュウネン卵入りサラダ、カボチャと米粉を使った「かぼらいすいとん汁」、ご飯、ミニトマト、牛乳。村内産の食材をふんだんに使った献立で挑みました。



賞状を手にする芳賀栄養技師(左)と岡崎主任調理員